

平成28年度 桑折宿まちなか街道(福島県桑折町) 現地指導

団体の活動の質的向上を目的に、東北風景街道協議会委員による現地指導と意見交換会を実施

- ・実施日：平成29年3月1日(水)
- ・参加委員：(株)東北地域環境研究室 代表 志賀 秀一 氏、
東京大学 アジア生物資源環境研究センター 教授 堀 繁 氏
(一社)日本旅行業協会東北支部 支部長 野崎 佳政 氏 計 3 名

①現地での指導内容

歴史資源や自然資源を中心に視察。「奥州・羽州街道追分」の視察では、来た人が広場内の建物まで入ってくれるような導入整備について、「建物の前に植栽があるため建物が隠されている。人を歓迎するためのデザインとなっていない」と指導を頂いた。他の箇所での視察についても、「観光資源への案内が不十分」、「景観の見せ方に工夫が足りない」等の指導を頂いた。



奥州・羽州街道追分



旧伊達郡役所



桃の郷ポケットパーク付近

②意見交換会の内容(参加委員の意見)

まちづくりの合意形成は大勢でやるべき。このような機会をたくさん設け、外から来た人・見た人の意見を聞き、自分の町を知ることが重要。官・民で町が一体となり、良いまちづくりへの道筋をつけることが大事。(志賀) 町から「何をやる」との説明があったが、することにより「どう変わる」との説明がない。「することによってどう変わるか」を考えることが大事。人が第一に評価する項目は「見た目」である。桑折町はポテンシャルが高く、歴史もあるので、来た人を丁寧に誘導し、丁寧に見せることが非常に大事。(堀)

どういう人に来て欲しいか、何を(コンテンツ)アピールしたいのかが重要。桑折町にはコンテンツが多くある。そのコンテンツをどのような人をターゲットにし、どのように見せるかの工夫が重要。(野崎)



意見交換会の様子